

# 謹 賀



大館市議会議長  
藤原 美佐保

市民の皆様におかれましては、ますますご健勝で新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃から市議会の運営に關しまして格別のご理解とご協力を賜り、あつくお礼申し上げます。

昨年は、市議会議員の改選期にあたり、定数2人減のもとで28人が選任されました。新議員共々、心新たに議会活動に専念してまいる所存ですので、重ねてご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年の東北地方太平洋沖地震に端を発した津波被害や福島原子力発電所事故は、被災地のみならず全国民の生活に大きな打撃を与えました。当市が地震で受けた直接被害は小さかったものの、間接被害等による地元経済への影響は大きく、現在も厳しい状況となっています。

こうした中、昨年当市は、市制施行60周年を迎えました。TKマンシヨン大町が完成し、御成町南地区土地区画整理事業では権利者のご協力により仮換地指定が完了、各種工事に着手するなど、南北中心市街地の活性化に向け、確実に一歩を踏み出した節目の年でもありました。

一方、我が国は、原発事故と放射能汚染、被災地の復旧・復興、欧州の債務危機のありを受け、円高、さらにはタイの水害による日本企業の被害など難題を抱え、いまだかつて経験したことのない大変な状況となっています。

当市においても、長引く景気の低迷から雇用情勢は思うように改善してはおりませんが、誘致企業の設備投資により新たな雇用も見込まれるなど、将来に向け、更なる雇用の拡大を期待しているところです。

しかしながら、国論を二分しているTPPへの参加問題など、今後、地方経済の先行きは一層不透明であり、こういうときにこそ行政当局と議会が連携し、市民のために力を尽くすときと考えます。山積する課題に積極的に取り組み、市民の皆さんに信頼され、期待される議会になるよう、より一層の努力をしてまいりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

迎えた新年が、市にとって最良の年となりますよう祈念し、新年のごあいさつといたします。